

2021 年 6 月 26 日

平安時代前・中期の庭園を探る ー藤原良相邸を中心にー

(公財)京都市埋蔵文化財研究所 松吉祐希

1. はじめに

平安京では、これまでに多くの庭園が確認されています。今回の講座では、昨年度に発掘調査が行われた平安京右京三条一坊六町を中心に、平安時代前期・中期の庭園を取り上げて、その特徴を探ります。また平安京右京三条一坊六町で検出した庭園の位置づけも考えていきます。

考古学の世界からみえてくる、平安京の庭園の姿をご紹介します。

2. 「庭園」とは

「庭園」は『広辞苑』によると、鑑賞・逍遙などのため、樹木を植え築山・泉池などを設けた庭、とされています。

この「庭園」は、明治時代以降に用いられる用語です。古代に用いられた「庭園」にあたる言葉は、①場、庭、廷、斎場／斎庭、朝廷 ②園／菌、苑、園池／苑池、園地、禁園／禁苑 ③島、嶋、池④圉、圃 など、空間概念をあらわすものでした(文献¹⁾)。

3. 平安京右京三条一坊六町の調査(文献²⁾) 【図1～3、写真1～5】

9世紀後半の建物群や2つの池、溝を確認しました。これまでに行われた11回の発掘調査により、1町の北半部の様子が明らかとなっています。

池250 池の規模は東西18m、南北24mで、隅丸長方形のような平面形をしています。深さは90cmで、岸は15～25度の勾配をもち、護岸施設はなく素掘りの状態でした。池の南側には地山を掘り残して形作った中島が存在します。

池750 池の規模は東西43m、南北27m以上で、緩やかな曲線を描いています。深さは20～30cmで、最深部で約50cmです。岸は4～8度の勾配をもち、護岸は汀部2.2～2.7mの範囲に小礫を丁寧敷いて洲浜としていました。

溝599 幅1.2mで総延長48mに及び、池250と池750をつないでいました。溝の勾配から池250→溝599→池750へと水が流れたことが分かっています。

建物 池750の北側には、東西5間、南北2間に南庇のついた10次ー建物1・2、北西には平面形は不明瞭ですが8次ー建物1・2も確認されました。池250の西側には建物3や、池250に張り出す釣殿風の建物4を検出しました。また溝599の上を跨ぐような10次ー建物2や、池250と池750の中間地点に、東西2間、南北3間の身舎に東西南の3面庇がついた建物4を検出しました。

4. 平安時代前・中期の庭園 【図1】

平安時代前・中期の庭園は平安京で15事例見付かっています。

①平安京右京六条三坊八町(文献³⁾) 【図1-3・図4】

池(SX820) 宅地の南西部で9世紀前半の池を確認しました。池の規模は幅30m、長さ54m以上です。洲浜は幅5～6mに拳大の礫をまばらに敷いていました。元々存在した流路に部分的に洲浜を施して、池としていました。

建物 宅地の北部で、左右対称型の正殿、後殿、脇殿とみられる建物群が確認されています。

②平安京右京二条二坊八町(文献⁴⁾) 【図1-11・図5】

これまでに同じ町内で3回の調査が行われており、同じものと考えられる池をそれぞれの調査で検出しています。池は3時期あり、池3が9世紀中頃～10世紀前半、池2が10世紀後半にあたります。

池3 池の規模は東西25m以上、南北22m以上で、深さ20～30cmです。護岸施設はなく素掘りの状態ですが、池底には2～3cmの礫を敷き詰めていました。

池2 池3とほぼ同じ範囲に位置します。深さは10～20cmです。岸には幅1mの範囲に白砂を敷き詰めていました。

③平安京右京三条二坊十六町(斎宮邸)(文献⁵⁾) 【図1-9・図6、写真6】

9世紀後半～10世紀初頭にかけての3つの池を確認しています。「斎宮」、「斎舎所」、「斎雑所」と記された墨書土器が見付かっており、「斎宮」邸と考えられています。

池1 池の規模は東西15m、南北40mで、深さは最深部で50cmです。岸は、北岸が石積み、南岸が洲浜など、それぞれの個所で異なる意匠の護岸を持っていました。水は、泉→水路→堰→池1へと流れていました。

池2 池の北東部のみ検出しました。池の規模は東西6m以上、南北8m以上です。水は、池1→溝2→池2へと流れていました。

池3 池の北東部のみ検出しました。池の規模は東西14m以上、南北6m以上です。

建物 池1に張り出す建物3、南北11間、東西1間の南北棟の掘立柱建物(建物14)が付属する建物2など、多くの建物を検出しました。

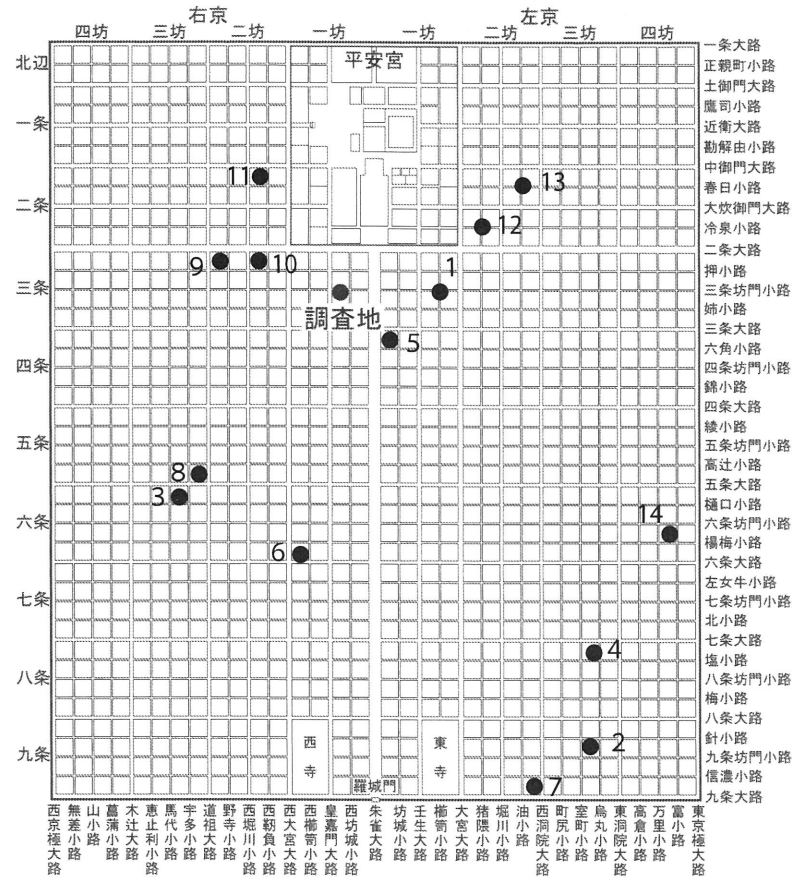
5. おわりに

・平安時代前・中期の庭園の特徴

・平安京右京三条一坊六町の庭園の位置づけ

引用参考文献

- (1) 奈良文化財研究所『古代庭園研究Ⅰ—古墳時代以前～奈良時代—』奈良文化財研究所学報第74冊
独立行政法人文化財研究所 奈良文化財研究所、2006年
- (2) 丸川義広ほか「平安京右京三条一坊六・七町跡 西三条第(百花亭)跡」京都市埋蔵文化財研究所
発掘調査報告 2011-9 財団法人 京都市埋蔵文化財研究所、2013年
- (3) 堀内明博編『平安京跡研究調査報告 平安京右京六条三坊』平安京跡研究調査報告 第20輯 財團
法人古代学協会・古代学研究所、2004年
- (4) 北中恭祐編『平安京右京二条二坊八町跡 平安時代庭園跡の調査』株式会社日開調査設計コンサル
タント 文化財調査研究報告書第4集 株式会社日開調査設計コンサルタント、2011年
- (5) 網伸也ほか『平安京右京三条二坊十五・十六町—「齋宮」の邸宅跡—』京都市埋蔵文化財研究所調
査報告第21冊 財団法人 京都市埋蔵文化財研究所、2002年



- 調査地(良相邸) 右京三条一坊六町
- | | |
|---------------------|---------------------------|
| 1 左京三条一坊九～十六町 (神泉苑) | 7 左京九条二坊十三町 |
| 2 左京九条三坊十町 | 8 右京五条三坊四町 |
| 3 右京六条三坊八町 | 9 右京三条二坊十六町 (齋宮邸) |
| 4 左京八条三坊九町 | 10 右京三条二坊八町 |
| 5 左京四条一坊一町 | 11 右京二条二坊八町 |
| 6 右京六条一坊十三町 | 12 左京二条二坊三～六町 (冷泉院) |
| | 13 左京二条二坊九・十・十五・十六町 (高陽院) |
| | 14 左京六条四坊十一町 (河原院) |

図1 平安時代前・中期の庭園検出事例

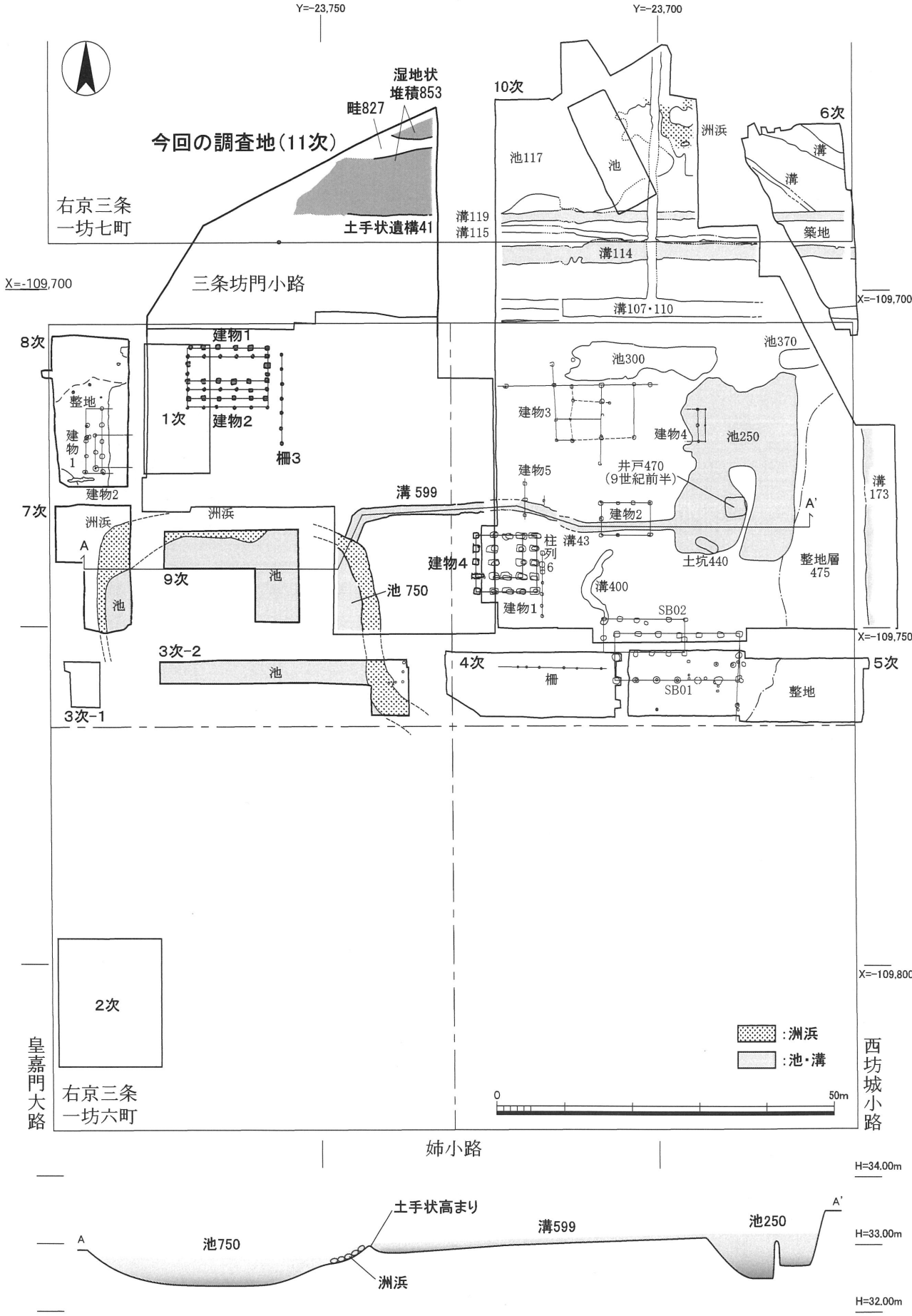


図2 平安京右京三条一坊六町 遺構配置図(1:800)、池・溝断面模式図(縦1:80、横1:800)



写真1 池 250 全景（南東から）

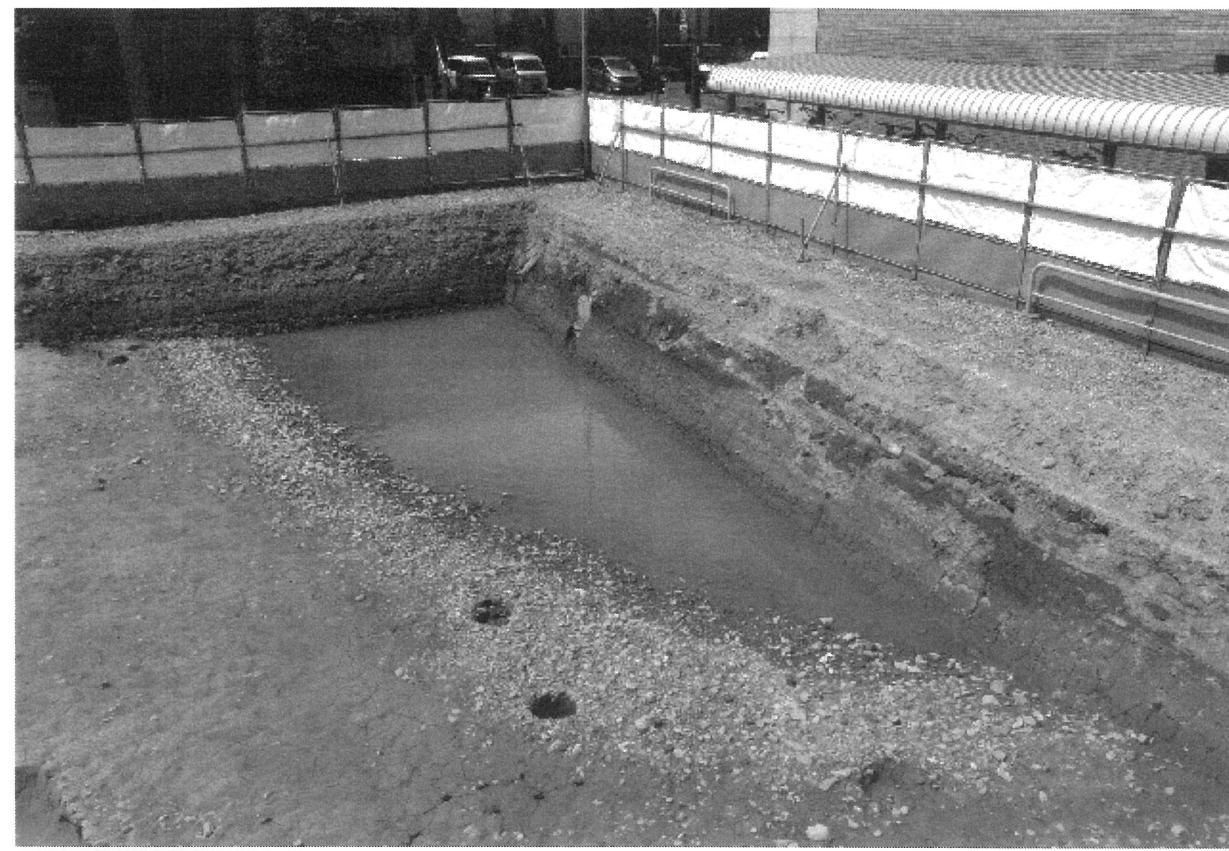


写真4 池 750 全景（北東から）

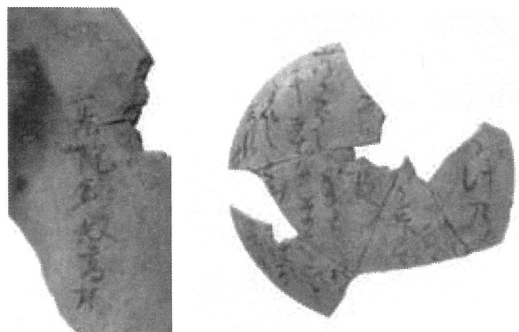


写真2 10次調査で出土した墨書土器

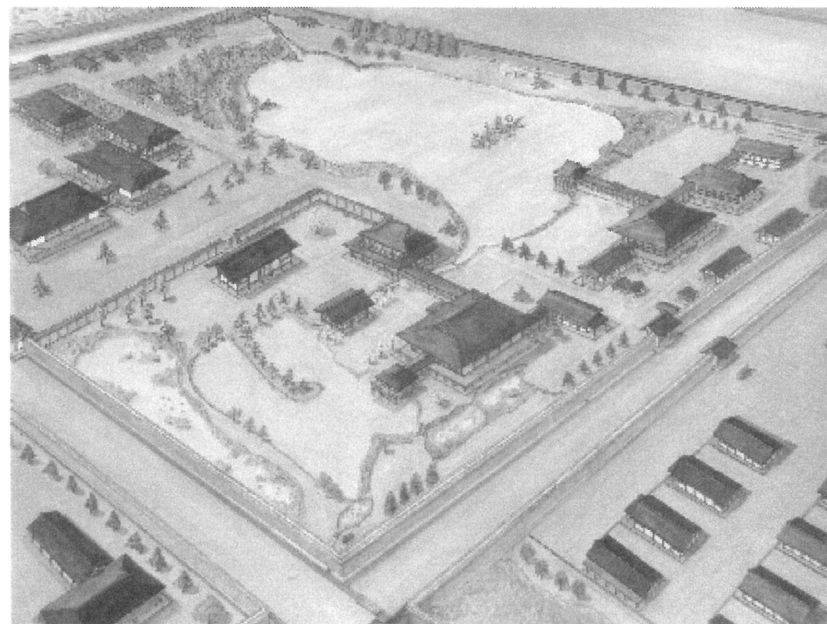


図3 平安京右京三条一坊六町復原想定図（梶川敏夫 画）



写真3 池 250 遺物出土状況（北から）



写真5 池 750 と溝 599 接続部（西から）

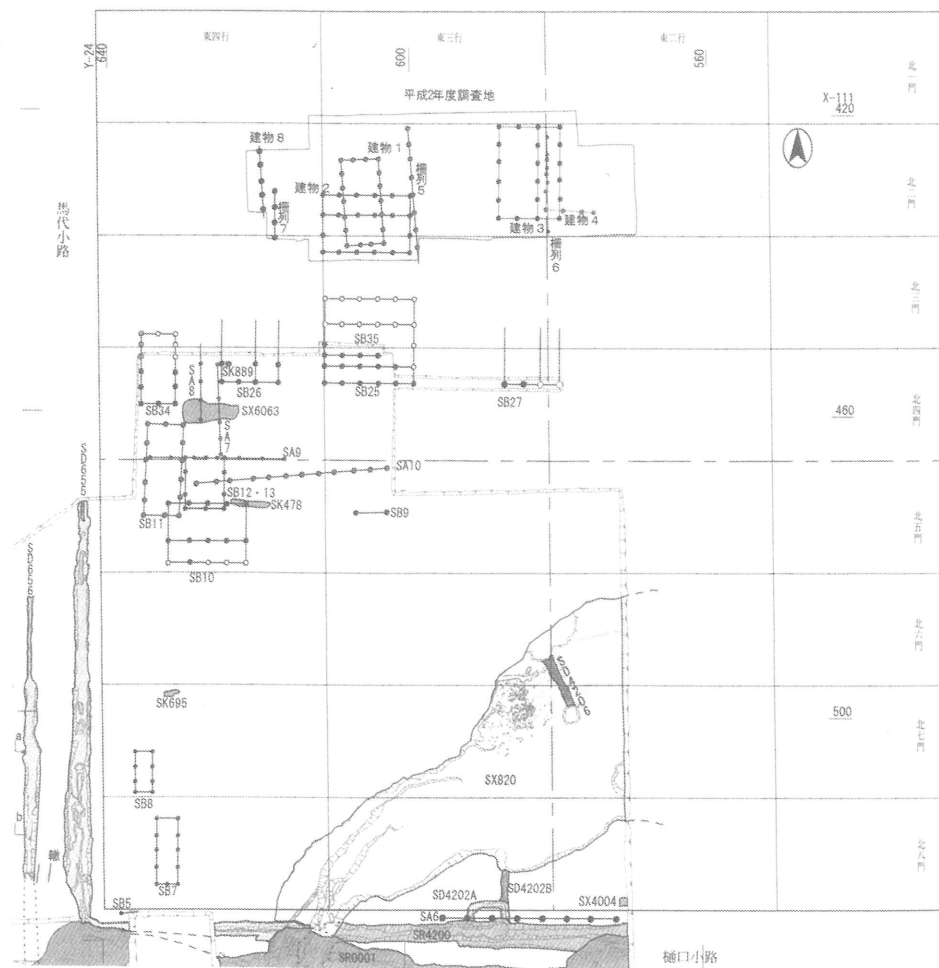


図4 ①平安京右京六条三坊八町 (1:1000)

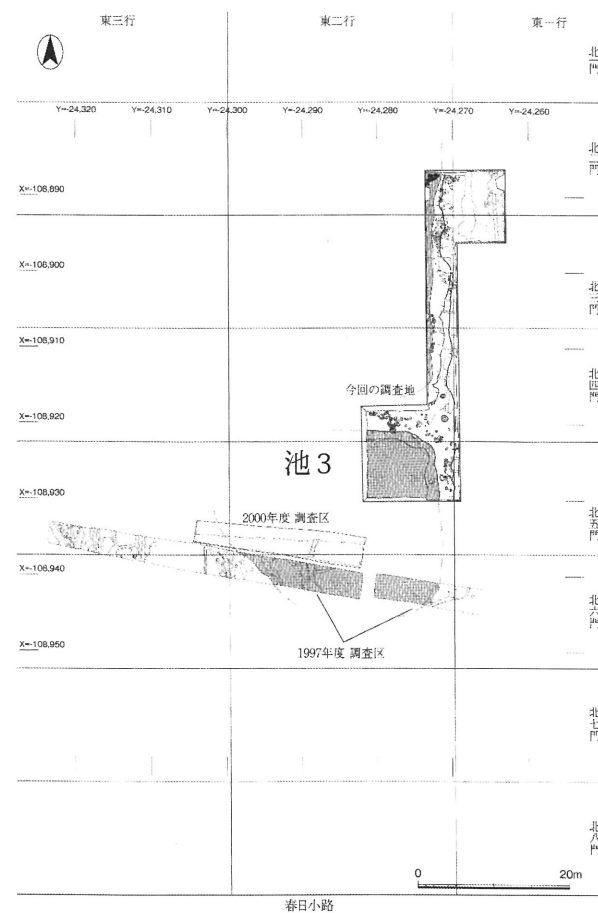


図5 ②平安京右京二条二坊八町 (1:1000)

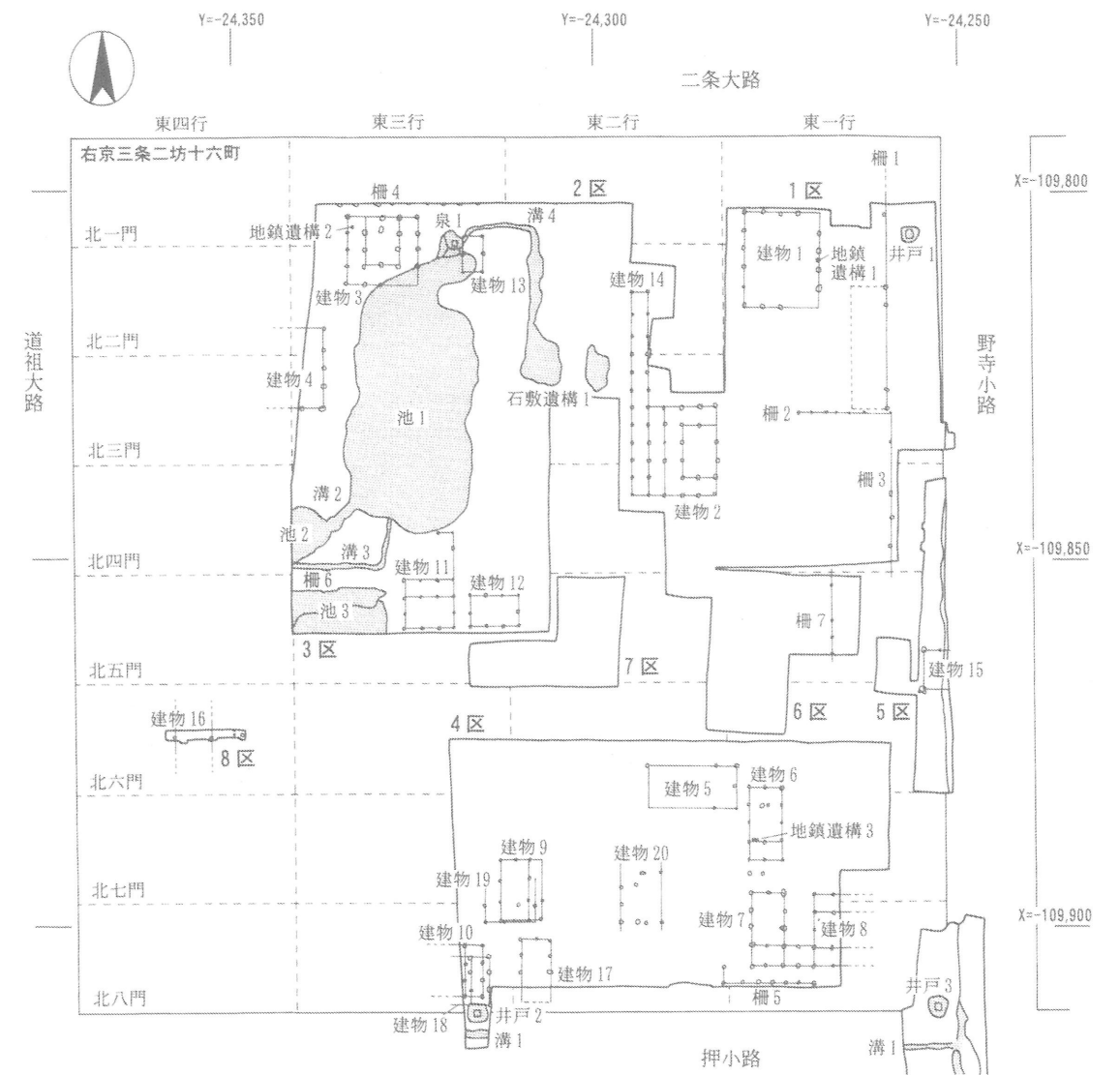
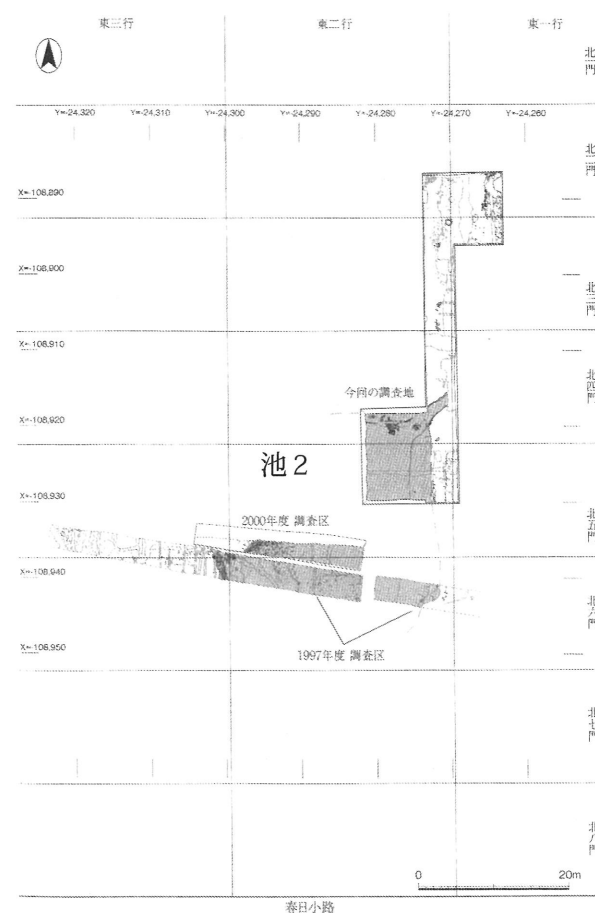


図6 ③平安京右京三条二坊十六町 (1:1000)



写真6 ③平安京右京三条二坊十六町 池1 (北東から)